

平成19年度

社団法人日本建設機械化協会 会長賞の決定

本協会では創立40周年を記念して、平成元年より会長賞表彰制度を創設しました。その目的は、「日本の建設事業における機械化に関して、調査研究、技術開発、実用化等により、その発展に顕著に寄与したと認められる業績を表彰する」ことにあります。

平成19年度会長賞の公募は、本年2月に行い、会長賞選考委員会（委員長：深川良一教授 立命館大学理工学部）において応募11件のなかから次の4件の技術が選定されました。

会長賞，貢献賞，奨励賞の受賞技術及び受賞者

■会長賞

- ・緊急地震速報の活用による建設現場の安全性向上—早期地震警報システムの開発と適用—
鹿島建設株式会社

■貢献賞

- ・無人情報化施工システム
株式会社熊谷組／新キャタピラー三菱株式会社／株式会社ニコン・トリンプル／共栄機械工事株式会社

■奨励賞

- ・既存施設直下の地盤改良，土壌浄化，および空洞充填技術の開発—グランドフレックスモール工法—
大成建設株式会社／株式会社キャプティ／三信建設工業株式会社／強化土エンジニアリング株式会社／成和リニューアルワークス株式会社
- ・双腕作業機 ASTACO の開発
日立建機株式会社

■受賞者の表彰式は、5月18日（金）虎ノ門パストラルで開催された日本建設機械化協会平成19年度第58回通常総会に引き続いて行われ、賞状、記念の楯および副賞が各受賞者に贈られました。



会長賞受賞者（鹿島建設株）の表彰



会長賞，貢献賞，奨励賞を受賞した皆さま

ここに受賞された技術の概要を紹介します。